

【2-21】

湾・灘の区分	広島湾、伊予灘、周防灘、響灘												
取組の名称	総量削減計画(第8次)の推進												
事業期間及び事業費	事業期間:平成29年度～令和3年度 事業費:407千円(令和元年度)												
事業体制	山口県環境生活部環境政策課												
事業の背景・目的	・第8次総量削減計画(平成29年6月)に基づき、総量規制基準の適用、関係事業場の指導等を推進し、瀬戸内海に流入する汚濁負荷量の削減目標の達成に努めている												
事業場所の詳細	山口県内												
事業内容	・総量規制対象事業場における、基準の遵守状況を確認するため、立入調査(測定方法、記録状況、水質調査による測定機器の精度等の確認)を実施												
取組による効果・影響及びその判断基準等	<p>平成29年度発生負荷量(産業系)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>発生負荷量(H29)</th> <th>削減目標(R1)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>COD</td> <td>26</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>窒素</td> <td>10</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>りん</td> <td>0.7</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位:トン/日)</p>	区分	発生負荷量(H29)	削減目標(R1)	COD	26	31	窒素	10	13	りん	0.7	1.0
区分	発生負荷量(H29)	削減目標(R1)											
COD	26	31											
窒素	10	13											
りん	0.7	1.0											
現状での課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海域の化学的酸素要求量に係る環境基準達成率は7割程度で横ばい</li> <li>・赤潮発生件数は年間10件程度で推移</li> <li>・漁獲量の低下、養殖ノリの色落ち・生長不良等</li> </ul> <p>➤水質総量削減制度等のさらなる推進が必要である一方、湾・灘ごと、季節ごとの状況に応じたきめ細やかな水質管理も必要</p>												
今後の予定等	総量削減計画(第8次)の推進及び次期計画策定に向けた検討等												
取組事例についての発表資料等	瀬戸内海環境保全小委員会(第15回)資料												
情報提供元	山口県												